

取り付け後の確認

取り付け完了後、必ず下記の項目を確認してください。

図 9

1. 接続部の水漏れ (図 9 参照)

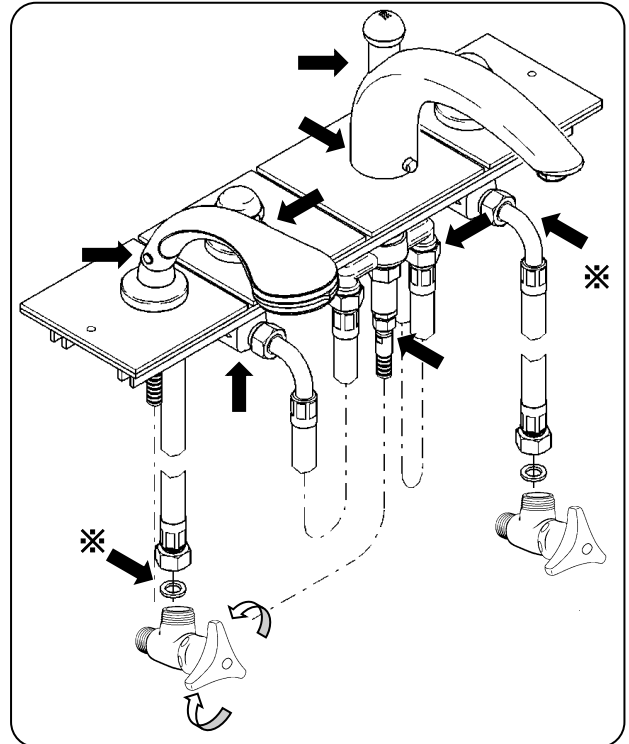
吐水、止水を数回くりかえした後、図の箇所を点検します。

- 止水栓と接続ホースの接続部。
- 接続ホースとバルブ給水・湯給口の接続部。
- バルブとハンドルの接続部。
- バルブ出口と接続ホースの接続部。
- 接続ホースとチーズの接続部。
- チーズ、ニップルと吐水口の接続部。
- 吐水口と切替弁の接続部。
- チーズ、ニップルとホースの接続部。
- ホースとシャワーヘッドの接続部。

※特に、この部分は通水後漏水のない事を必ず確認し、万が一漏水が確認された場合パッキンを新品に取り替えた上、再度規定のトルクで締付を行ってください。

2. 水量・湯温の調節 (図 9 参照)

お使いいただく現場で、適量・適温が得られるよう、止水栓で調節してください。
※湯水の流量を同程度にすると温度調節がしやすくなります。



故障と点検

※取り付け後、万一故障した際は、次の要領で分解および点検を行ってください。

現象	点検箇所
吐水量が少ない	1. 2. 7
水が止まらない	3. 7. 10
温度不良	1. 3. 7
ハンドルがガタつく	4. 5
カウンター内より漏水する	6. 8. 14
吐水口より漏水する	9
化粧プレートがグラつく	11
シャワーに切り替わらない	1. 12
シャワーが取り出せない	13
シャワーの量が少ない	1. 15

シャワー
13. ホースの引っ掛かりはないか?

吐水口オーリング
9. キズ・ゴミかみはないか?

シャワーホース
14. 破損・締め付けのゆるみはないか?

水漏れ防止パッキン
6. きちんと取り付けられているか?

接続ホース
8. きちんと施工されているか?

切替弁
12. キズ・ゴミかみはないか?

ハンドル
5. きちんと調整して取り付けられているか?

止ビス
4. きちんと取り付けられているか?

セットナット
11. 十分に締め付けてあるか?

泡沫器
2. ゴミづまりはないか?

スピンドル
10. 逆向きに取り付けてないか?

ヘッドパーツ
3. 破損・ゴミかみはないか?

弁座
7. 破損・ゴミかみはないか?

止水栓
1. 全開されているか?
圧力は十分か?

ホース逆止弁
15. 破損・ゴミかみはないか?

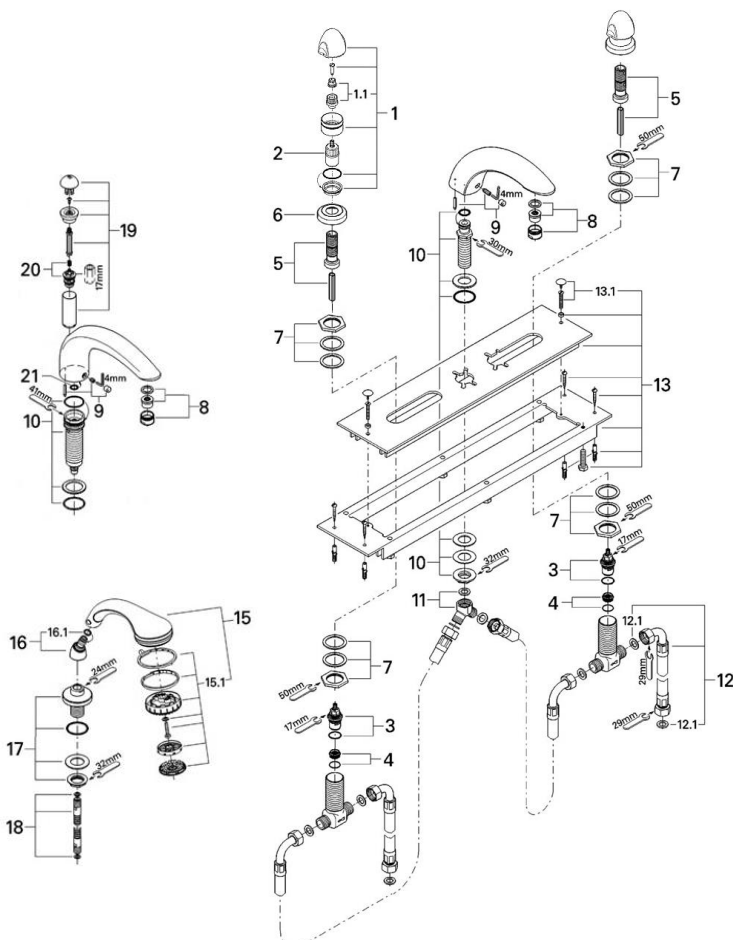
デッキバス混合栓施工説明書

機種名	一般地用
アトリオ (イプシロン)	25066
アトリオ (ヨータ)	25066+45609
テンゾー	25069 (JP227300)
エクトス	25070
タロン	25068
セントーサ	25043(2555100J)
セントーサ	25042

- 製品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取り付けてください。
- この施工説明書に記載されていない方法で施工され、それが原因で故障が生じた場合は、商品の保証を致しかねますのでご注意ください。
- 施工完了後、試験運転を行い、異常が無いことを確認するとともに、「取扱説明書」にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
また、この説明書は、お客様で保管頂くように依頼してください。

分解図

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。



図番	名称
1	ハンドルセット
1.1	インサートセット
2	セットナット
3	セラミックヘッドパ
4	弁座
5	スピンドルセット
6	化粧プレート
7	バルブ締付セット
8	エアレーター
9	止ビスセット
10	ニップルセット
11	チーズ
12	接続ホース
12.1	3/4 パッキン
13	施工デッキプレート
13.1	取付ビスセット
15	シャンペンシャワーヘ
15.1	シャンペン散水板セツ
16	シャワーニップル
16.1	Oリング
17	ホルダーセット
18	M15 メタルホース 2000
19	切替弁ノブ
20	切替弁
21	Oリング

※カウンター穴あけ寸法は付属のテンプレートを使用して行ってください。カウンター厚 25 mm (45 mm) 以下。25042 は 25mm 以下

安全上の注意

施工前にこの「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく施工してください。

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

⚠注意

湯水を逆に配管しないでください。

※水を出そうとしても、湯が出てヤケドをすることがあります。

お客様に引き渡す前に凍結が予想される場合は水を抜いておいてください。

寒冷地仕様ではありませんので、水抜きには工具を必要とします。

※凍結破損で漏水し、家財を濡らす財産損害発生のおそれがあります。

施工完了後は、配管接続部分及び水栓から、水漏れの無いこと、ハンドルが閉じていることを確認してください。

※漏水で、家財を濡らす財産損害発生のおそれがあります。

使用条件

● 給水、給湯圧力

◇貯湯式温水器（ボイラー、電気温水器）と組み合わせる場合

流動圧で最低必要圧力(0.07Mpa [0.7kgf/C m²])～(最高圧力0.74Mpa [7.5kgf/C m²])の範囲とします。

給水・給湯圧力はできるだけ同圧（最大3：1以内）になるようにしてください。

◇ガス給湯器（比例制御式：16号相当）と組み合わせる場合

流動圧で最低必要圧力(A+0.07Mpa [0.7kgf/C m²])～(最高圧力0.74Mpa [7.5kgf/C m²])の範囲とします。

※Aはガス給湯器の最低作動圧力です。

※以上は下記の条件を想定して設定されています。

レバーハンドルは全開です。

ガス給湯器との組合せ条件が最も悪い冬期条件（給水温度5℃、吐出温度40℃）によるものです。

給水圧力はガス給湯器直前における流動圧です。

ガス給湯器の温度調節は最高温度（60℃）設定です。

◇給水圧力が0.74Mpa [7.5kgf/C m²]を超える場合は、市販の減圧弁等で適正圧力に減圧してください。

● 水勢の調節及び器具の点検を容易にするために、別途止水栓の設置をおすすめします。

● 給湯に蒸気を使用しないでください。

● 水栓下部を点検出来るように必ず点検窓を設けてください。

施工前の注意

● 給水配管が右側、給湯配管が左側に配管されていることを確かめてください。

● 給水は上水道に接続してください。

※温泉水など異物を多く含む水には使用できません。

● 開梱、取り付けの際には商品の表面に傷をつけないように十分に注意してください。

● 必ず配管中の異物（ゴミ、砂等）を完全に洗い流してください。

● 取り付ける場合、必ず水受けを設けスラブへの防水を行ってください。

● 給水・給湯ホース緩み防止の為、給水・給湯配管は動かないように確実に固定してください。

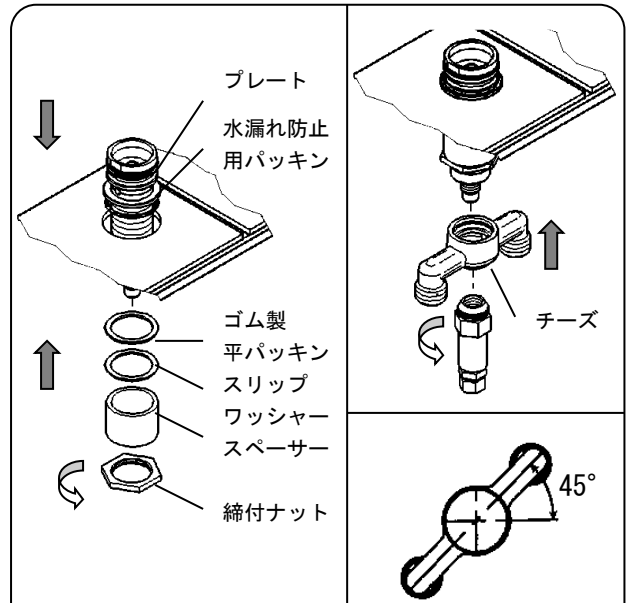
● 接続ねじは平行ねじG3/4です。テーパねじ(TP3/4、R3/4)には使用しないでください。また止水には付属のパッキンは必ず使用してください。

● 逆流防止は付属しておりません。逆流のおそれがある場合（先端にホースを付けるなど）は、別途逆流防止を設置してください。

7.ホルダーの取り付け（図7参照）

- ①吐水口付属部品を収納している箱からニップルを取り出し、水漏れ防止用パッキンを取り出し、プレートに取り付けてください。
- ②ニップルをカウンター上部から取り付け穴に挿入します。カウンターうらからゴム製平パッキン、スリップワッシャー、スペーサーを挿入し、ニップルの六角部を工具（4mmスパナ）等で固定し、締付ナットを工具（4mmスパナ）等で完全にねじ込んでください。
- ③ニップル下部に付属のチーズを差し込み、斜め45°になる位置でシャワー接続ユニオンを工具（27mmスパナ）等で完全にねじ込んでください。
 ※水漏れ防止用パッキンが取り付け穴に落ち込んでいないことを確認してください。ニップルを固定する際、取り付け穴の中心にくるように取り付けてください。
 ※ニップルが確実に固定されていることを確認してください。動く場合は、再度締付ナットを締め直してください。

図7



8. 吐水口の取り付け（図7参照）

- ①固定ピンとカウンターの穴を合わせ、ニップルに吐水口を手で差し込みます。
- ②吐水口に止ビスを4mm六角レンチで右回しにねじ込み固定します。
- ③固定ビスに化粧ナットを工具（10mmスパナ）で右回しにねじ込みます。
 ※固定ピンの穴にはコーキングをお勧めします。
 ※吐水口が差し込みにくい場合はニップルのオーリングにグリスを塗ってください。
 ※吐水口が確実に固定されていることを確認してください。動く場合は、固定ピンがキチンと入っているのを確認し、止ビスを締め直してください。

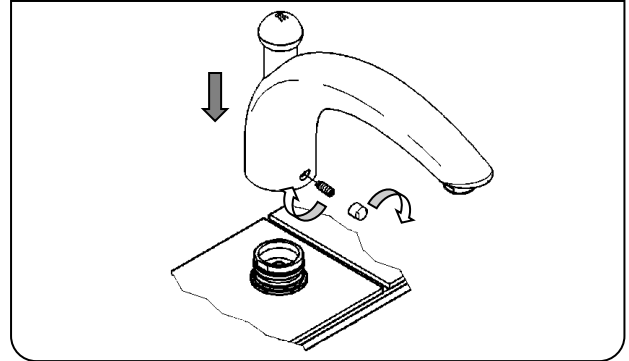
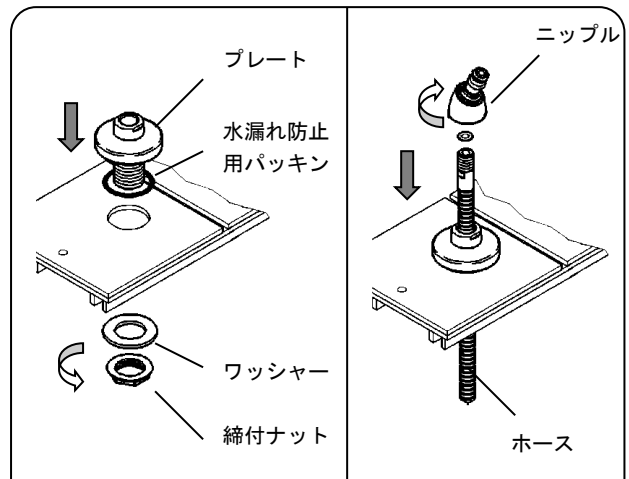


図8

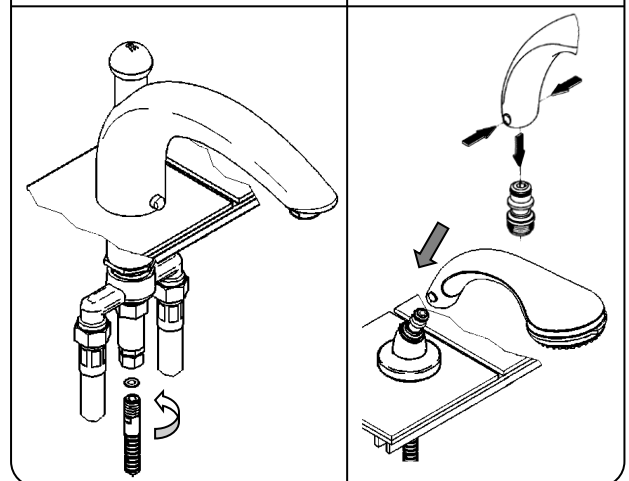
9.ホルダー、ホースの取り付け（図8参照）

- ①シャワーホルダーを小箱から取り出し、ワッシャー、締付ナットを取り外します。
- ②シャワーホルダーをカウンター上部から取り付け穴に挿入します。カウンターうらからワッシャーを挿入し、締付ナットを工具（32mmスパナ）等で完全に締め付けてください。
- ③ホースをホルダーより挿入し、13mmスパナで固定し、ニップルを手でねじ込んでください。
- ④ホースを13mmスパナで固定し、シャワー接続ユニオンの袋ナットに工具（19mmスパナ）等で完全に締め付けてください。
 ※水漏れ防止用パッキンが取り付け穴に落ち込んでいないことを確認してください。ホルダーを固定する際、取り付け穴の中心にくるように取り付けてください。
 ※ホルダーが確実に固定されていることを確認してください。動く場合は、再度締付ナットを締め直してください。
 ※ホースがつぶれないように注意してください。



10. シャワーの取り付け（図8参照）

- ①シャワーヘッド下部のスナップボタンを同時に両側から押しながら接続ニップルを引き抜いてください。
- ②シャワーヘッドを『カチッ』と音がするまで接続ニップルに差し込んでください。
 ※きちんと差し込んだ状態でないと、水圧によってはシャワーヘッドが接続ニップルから外れてしまう場合があります。

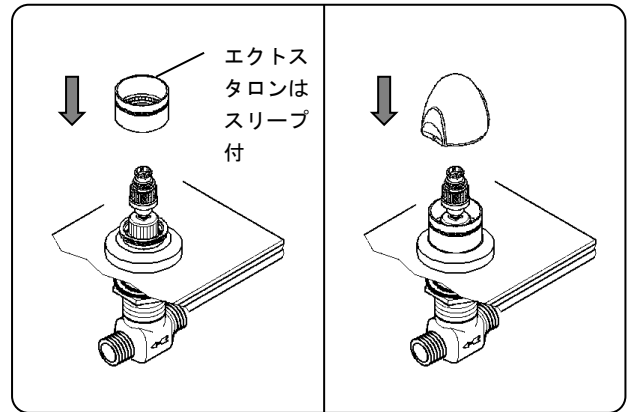


施工手順（吐水口、バルブ）

4. ハンドルの取り付け（図4参照）

- ① インサートのギザギザにハンドルの内側のギザギザを合わせ手で差し込みます。
- ② 化粧プレートとハンドルの隙間が約1mmになるよう、5mm六角レンチで調整します。
- ③ ハンドルはインサートの爪が折れないよう注意しながら真っ直ぐに、確実に、はめ込んでください。
※化粧プレートのマークは正面にくるようにしてください。また、赤を左側、青を右側にしてください。
※スリーブがスリーブガイドに入りにくい場合は、オリングにグリスを塗ってください。

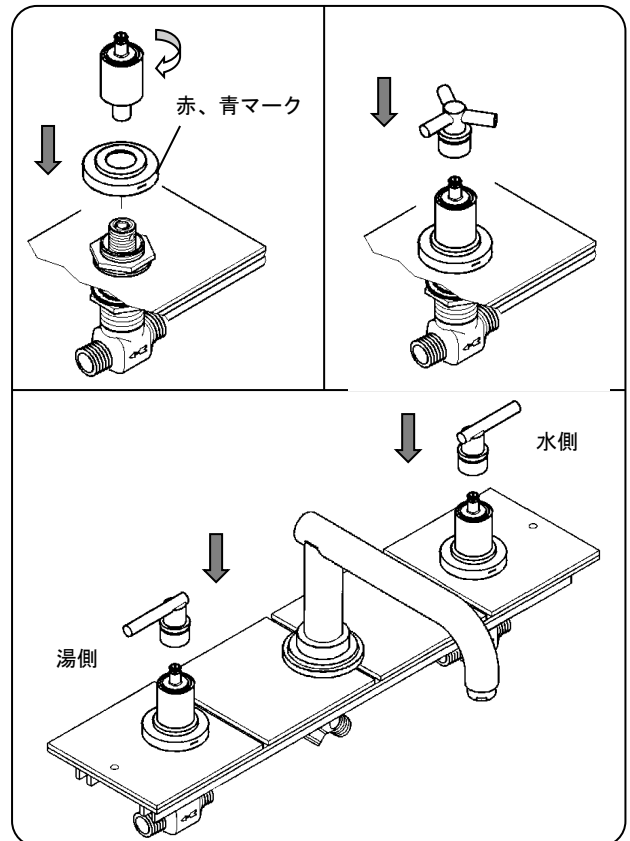
図4



5. ハンドルの取り付け（図5参照）アトリオ

- ① 化粧プレートのマークが正面になるよう仮置きし、ネジガイドにセットナットを手で右回しにねじ込み、仕上げ面とセットナットの間で化粧プレートを固定します。
- ② インサートのギザギザにハンドルの内側のギザギザを合わせ手で差し込み、止ビスを右回しにねじ込みます。
- ③ ハンドルはインサートの爪が折れないよう注意しながら真っ直ぐに、確実に、はめ込んでください。
- ④ ヨータ、デルタのハンドルは図のように、外向きに取り付けてください。
※化粧プレートのマークは正面にくるようにしてください。また、赤を左側、青を右側にしてください。
※ヨータ、デルタの場合は水側、湯側の区別がありません。湯側は右回し、水側が左回しで閉栓になります。

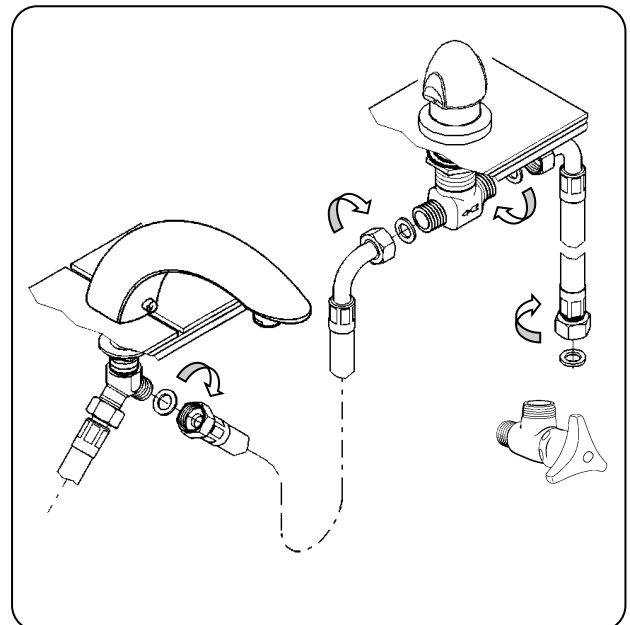
図5



6. 吐水口とバルブの接続（図6参照）

- ① 接続ホース袋ナットに付属のパッキンをはめ込んでください。
- ② 付属の接続ホースはバルブ側にエルボ用袋ナットを、吐水口側、給水口側にストレート用袋ナットを、工具（29mmスパナ）等で確実に締め付けてください。
※付属のパッキンを紛失の場合は同径の市販品パッキンでもご利用できます。
※接続ホースがつぶれないよう注意してください。
※締め付は、200～300kgf・cmのトルクで行ってください。初期の締め付が弱いと漏水の原因になります。

図6



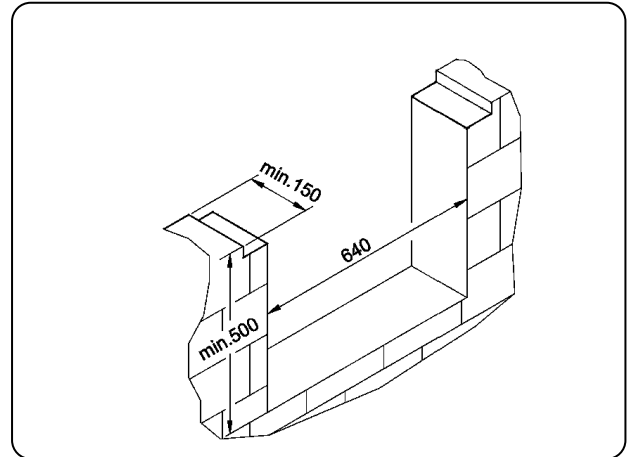
施工手順（施工デッキプレート）

1. 点検窓の設置（図1参照）

- ①設置場所に点検用のスペースを設けてください。
- ②バルブと吐水口の接続には、ブレードホースを使用しております。劣化による部品交換が必要となった場合や、接続部分の水漏れ点検等のため、必ず点検窓を設置してください。

※施工デッキプレートを使用しない場合でも、必ず別途点検窓を設置してください。

図1

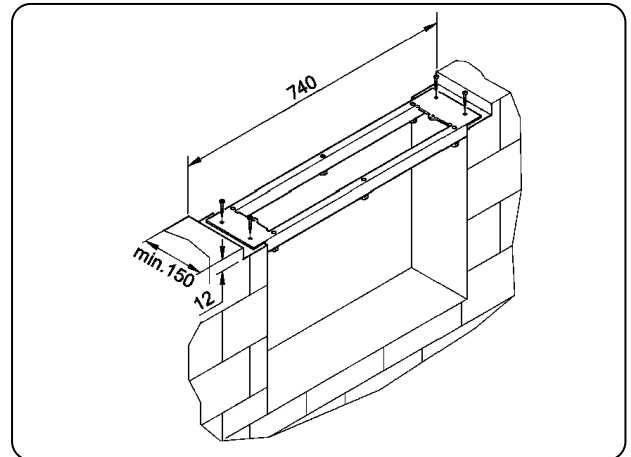


2. 施工デッキプレートの取り付け（図2参照）

- ①設置場所に施工デッキプレートのスペースを設けてください。
- ②施工デッキプレートのベースに付属の六角ボルト（六本）を手で下側からねじ込んでください。
- ③設置場所に施工デッキプレートが付属の取付ビス（四本）で取り付けてください。

※取付ビスは同等品であれば、付属の取付ビス以外でも使用可能です。

図2

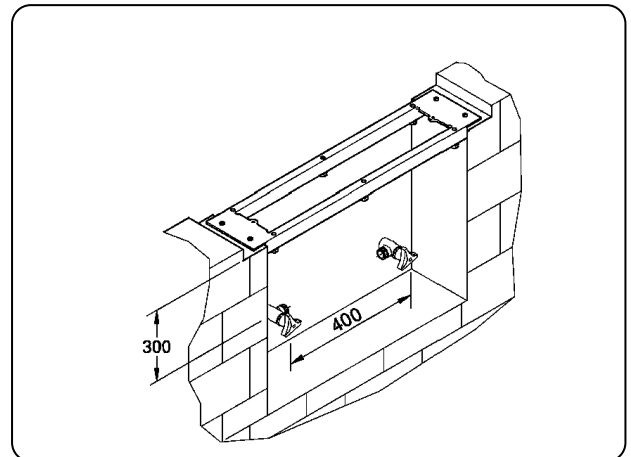


3. 止水栓の取り付け（図3参照）

- ①設置場所に止水栓を設けてください。
- ②湯・水の水量調整や、接続部分の水漏れ点検等のため、止水栓の設置をおすすめします。
- ③接続ねじは、G3/4になります。

※止水栓の位置は規定寸法を守ってください。施工デッキプレートの上部カバーは、点検のためを引き出しますのでブレードホースに余裕をもたせてください。

図3

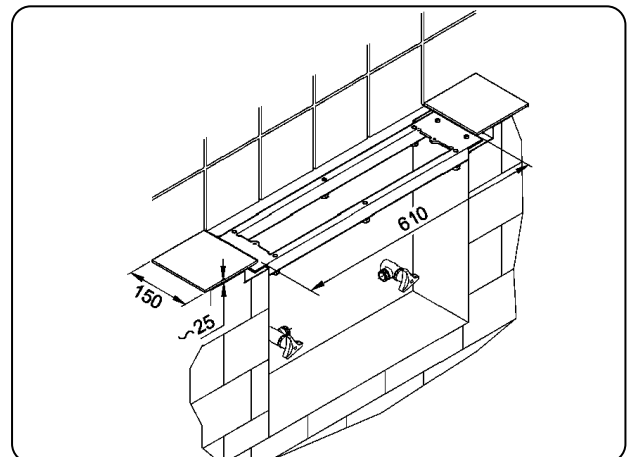


4. カウンターの仕上げ（図4参照）

- ①設置場所には施工デッキプレートの上部カバー分のキリカキが必要です。
- ②施工デッキプレートの上部カバー分以外のカウンターを仕上げてください。

※カウンターの厚みは25mmまでになっております。最大の厚みを45mmにしますと、上部カバーの固定ビスが使用できません。固定の際はコーキングだけとなります。

図4

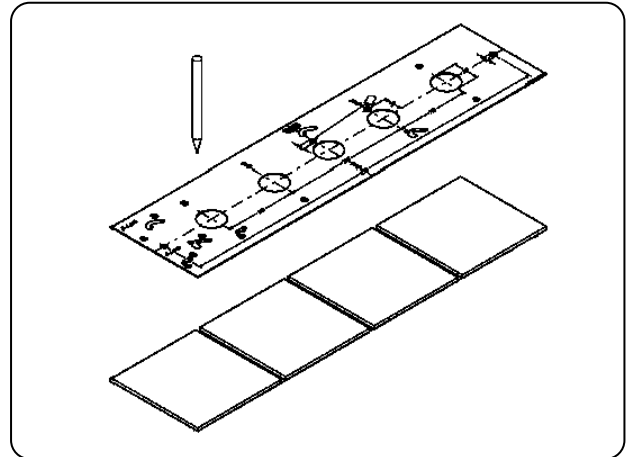


施工手順（施工デッキプレート）

5. タイル（石）の準備（図5参照）

- ①施工デッキプレートの上部カバー分のタイル（石）610 mm x 150 mmが必要です。
- ②付属のテンプレートの上の寸法で、3-Loch と記載されている6個の穴になります。
- ③タイル（石）に付属のテンプレートをあてて、エンピツ等でけがいてください。
※タイル（石）の厚みが25 mmから45 mmですと、両端のφ12は必要ありません。

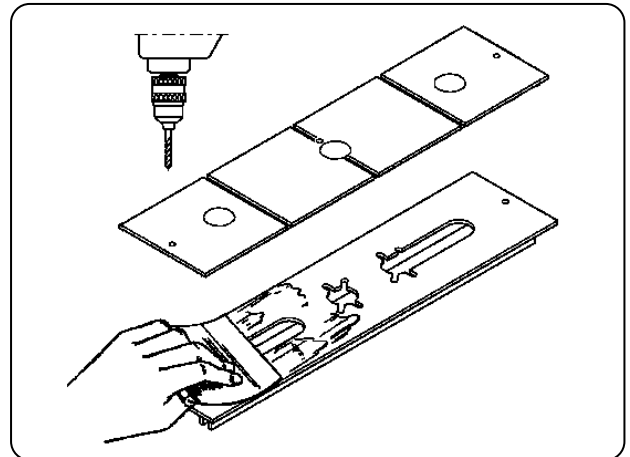
図5



6. タイル（石）の取り付け（図6参照）

- ①タイル（石）にドリル等でテンプレートのとおり穴をあけてください。
- ②施工デッキプレートの上部カバーにタイル（石）を接着材等で貼り付けてください。
※両端のφ12は上部カバー取付ビスの穴で、φ12 mmで6 mmのザグリφ8 mmの貫通穴になります。
※中央のφ5は吐水口の固定ピンの穴で、φ5 mmの貫通穴になります。

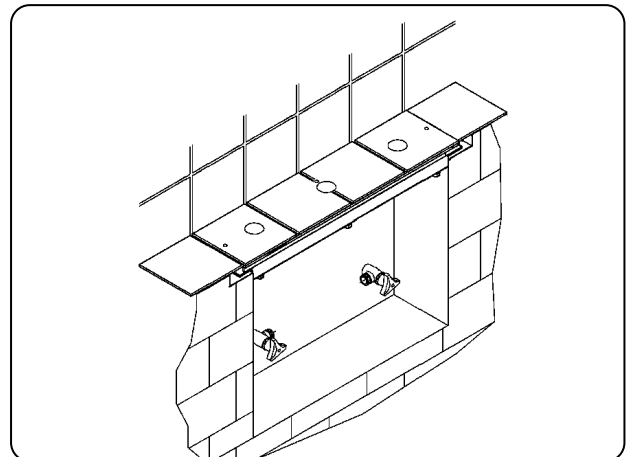
図6



7. 上部カバー水平の調整（図7参照）

- ①施工デッキプレートのベースに取り付けた六角ボルト（六本）で上部カバーの水平を調整できます。
- ②施工デッキプレートのベースに上部カバーを仮に置きます。
- ③六角ボルトを工具（17 mmスパナ）等で高さを調整してください。
※高さ調整は最大5 mm程度となっております。

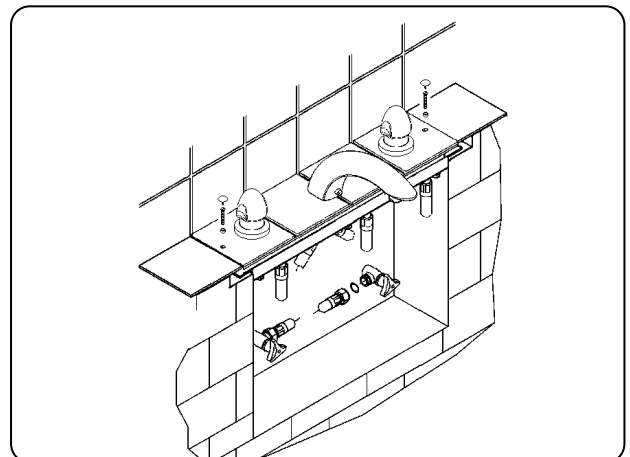
図7



8. 上部カバーの取り付け（図8参照）

- ①上部カバーに吐水口、バルブを取り付けてください。
施工手順（吐水口、バルブ）を参照してください。
- ②止水栓に湯・水の接続ホース（ブレードホース）を工具（29 mmスパナ）等で確実に締め付けてください。
- ③上部カバーの両端に取付ビスを工具（ドライバー）等でねじ込んで固定します。
- ④取付ビスにキャップを手でねじ込んでください。
- ⑤カウンター内部へ水が入りますので、カウンターの上部カバー分のキリカキにコーキング等シール材を使用してください。
※付属のパッキンを紛失の場合は同径の市販品パッキンでもご利用できます。
※接続ホースがつぶれないよう注意してください。
※締付は、200~300 kgf・cmのトルクで行ってください。初期の締付が弱いと漏水の原因になります。

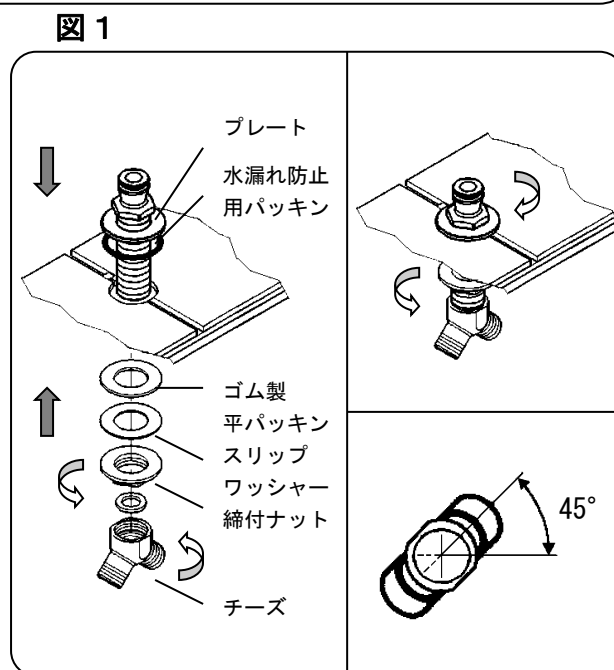
図8



施工手順（吐水口、バルブ）

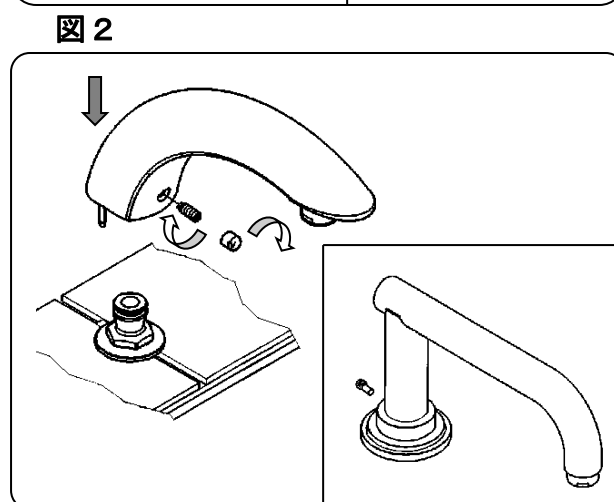
1. ニップルの取り付け（図1参照）

- ①吐水口付属部品を収納している箱からニップルを取り出し、水漏れ防止用パッキンを取り出し、プレートに取り付けてください。
- ②ニップルをカウンター上部から取り付け穴に挿入します。カウンターうらからゴム製平パッキン、スリップワッシャーを挿入し、締付ナットで締め付け、仮に止めておいてください。
- ③ニップルの六角部を工具（30mmスパナ）等で固定し、付属のチーズを完全にねじ込んでください。
- ④チーズが斜め45°になる位置でニップルの六角部を工具（30mmスパナ）等で固定し、締付ナットを工具（32mmスパナ）等で完全に締め付けてください。
 ※水漏れ防止用パッキンが取り付け穴に落ち込んでいないことを確認してください。ニップルを固定する際、取り付け穴の中心にくるように取り付けてください。
 ※ニップルが確実に固定されていることを確認してください。動く場合は、再度締付ナットを締め直してください。



2. 吐水口の取り付け（図2参照）

- ①固定ピンとカウンターの穴を合わせ、ニップルに吐水口を手で差し込みます。
- ②吐水口に止ビスを4mm六角レンチで右回しにねじ込み固定します。固定ビスに化粧ナットを工具（10mmスパナ）で右回しにねじ込みます。
- ③アトリオの固定ビスは後ろ側になります。また、化粧ナットは付属しておりません。
 ※固定ピンの穴にはコーキングをお勧めします。
 ※吐水口が差し込みにくい場合はニップルのオーリングにグリスを塗ってください。
 ※吐水口が確実に固定されていることを確認してください。動く場合は、固定ピンがキチンと入っているのを確認し、止ビスを締め直してください。



3. バルブの取り付け（図3参照）

- ①バルブに付属している上側の締付ナット、スリップワッシャー、ゴム製平パッキンを取り外してください。バルブの入口と出口（矢印の刻印で表示）を確認し、カウンター下部より挿入してください。
- ②上側のゴム製平パッキン、スリップワッシャーを挿入し、締付ナットで挟み込み。プレート装着代5mmから10mmをとり、尚且つ入口と出口の向きが施工しやすい位置で上下の締付ナットを工具（50mmスパナ）等で締め付けてください。
- ③化粧プレートを仮置きし、エクトス、タロンはスリーブガイドを化粧プレートの上に置いて、ネジガイドにセットナットを手またはプライヤー等で右回しにねじ込み、仕上げ面とセットナットの間で化粧プレートを固定します。
- ④セットナットスピンドルのギザギザにインサートのギザギザを合わせ手で差し込み、インサートを手で右に回し閉栓の状態にし、止ビスを右回しにねじ込みます。タロンはインサートが二つ必要です。
 ※バルブが確実に固定されていることを確認してください。動く場合は、再度締付ナットを締め直してください。
 ※セットナットは工具での締め過ぎ等による部品の破損に注意してください。また、キズをつけないようにしてください。
 ※化粧プレートのマークは正面にくるようにしてください。また、赤を左側、青を右側にしてください。

